

令和元年度 第5回 横浜市中心卸売市場開設運営協議会会議録

日 時	令和2年3月24日（火）午後2時00分～午後3時30分まで
開催場所	横浜市中心卸売市場本場 市場センタービル3階研修室
出席者	森副会長・高力委員・藤島委員・長岡委員・福留委員・後藤委員・芦澤委員・石井（良）委員・荒木委員・山口委員・鈴木委員・布施委員・石井（孝）委員・明澤委員・出川委員（計15名）
欠席者	若杉会長・山下委員・真壁委員・多賀谷委員・星野委員（計5名）
開催形態	公開（傍聴者1名）
議 題	(1) 横浜市中心卸売市場経営展望について（第3回）
決定事項	(1) 文言の微修正等を含め、今後の手続きは会長に一任
報告事項	(1) 横浜市中心卸売市場業務条例及び施行規則の全部改正について (2) 開設運営協議会及び各部市場取引委員会の再編及び今後のスケジュールについて (3) 新型コロナウイルス感染症対策について
資 料	1. 次第 2. 横浜市中心卸売市場開設運営協議会委員名簿（資料1） 3. 座席表（資料2） 4. 横浜市中心卸売市場経営展望【素案】（案）（資料3） 5. 市第80号議案 横浜市中心卸売市場業務条例の全部改正（資料4-1） 6. 横浜市中心卸売市場業務条例施行規則の全部改正について（資料4-2） 7. 横浜市中心卸売市場条例の条文 （令和元年12月25日発行市報号外第12より抜粋）（資料4-3） 8. 経営展望策定に係る今後のスケジュールについて（資料5） 9. 新型コロナウイルス感染症対策関係資料（資料6）

議 事

【開会】

副会長より開会にあたってのあいさつ。
議事へと進む。

【議題1：横浜市中央卸売市場経営展望について（第3回）】

①三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 清谷氏及び事務局より、
資料3に基づき説明

②事務局からの補足

事務局：経営展望の中に市場の収支計画を入れる予定でしたが、現在、財政当局と市場で調整しているところでございます。この調整が済み次第、経営展望の中に組み込ませていただければと思っています。本来であれば本日の協議会で、経営展望と収支計画を一緒にご審議いただきたいところでしたが、横浜市側の事情があり、掲載が間に合わず、大変申し訳ございません。何卒宜しく申し上げます。

（質疑等）

布施委員：素朴な疑問ですが、食肉市場の経営展望については、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社さんが作成されているわけではありませんよね。

事務局：食肉市場の経営展望につきましては、経済局が事務局として市場関係者と協議してまとめていきましたが、冊子にする際には本場と同じく三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社さんにまとめていただきました。

布施委員：水産物部はこの経営展望を要望していましたが、中々進まなかったもので、他のコンサルティング会社に依頼して、水産物部経営ビジョンを前倒して作成した経緯があり、その点、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社さんとの継続性もあるしギャップもあると思っていましたが、食肉市場に関してはまた別途作成していたのですね。

事務局：共通部分は一緒に作成しました。

布施委員：わかりました。あと一つ質問ですが、この経営展望は10年間という計画期間、6ページにある「(3) 計画期間」の2020年度～2029年度という箇所や、その他に32ページにある「(1) 取扱数量・金額目標設定」の計画期間が10年間ということですが、これは実施期間ですよ。計画は既に出来ており、展望で方向が示されていて、その間も計画をし続けていくということではなく、それを実行する実施期間ではないのかと思っています。計画期間というのは何となくしっくり来ないと前から思っていました。

事務局：色々な見方があると思いますが、ここでいう計画期間というのは、経営展望として計画さ

れている期間がいつからいつまでかを示しており、この期間で計画していきますということではありません。

布施委員：実施期間ということですよ。

事務局：この期間において、各種取組を具体的に取り組んでいくこととさせていただきます。まさしく布施委員のおっしゃる通り、計画に基づいて実施をしていく期間ということとさせていただきます。

荒木委員：前回の協議会が終わった後に、当市場の構成者である鳥卵部と関連事業者の話題が一言も出ていない件について苦情を出したら一言だけ入れていただきましたが、本来であれば関連棟は昭和 59 年に竣工しているはずですよ。他の建物の竣工時期との差を考えると整備はいち早くやるべきではありませんか。竣工時期を全て述べて下さい。水産棟の仲卸施設と青果棟の仲卸施設の竣工時期を述べて下さい。

事務局：再整備をして完成したのが水産棟は昭和 61 年、青果棟の方が平成 4 年です。

荒木委員：私の記憶によると関連棟は昭和 59 年秋です。一番古い建物なのに整備計画には最後に回されるというのはそもそもおかしくないでしょうか。

事務局：そのような老朽化対策が必要だという認識はありました。その中で水産棟の低温化改修や青果棟の強化を今進めているところとさせていただきます。関連棟の積み残している部分が課題として最後に残ってしまっていることについては認識しています。

荒木委員：一番年数が経っているのであれば、今後、速やかにやるべきではないかと思えます。なぜ最後に回されているのかという部分も含めて、きちんとした考え方が欲しいと思えます。

事務局：関連棟あるいは鳥卵部の皆様と今後どういうことで改修していくのかという方向性等をご相談しながら検討をしていく意味で少し時間をいただきたいと思えます。

荒木委員：再編等後にあたっては、時間を割いて話をさせていただきたいと思えます。関連事業者さんもそうだと思いますが、そこがどうなったのか、記録として引き継がれていないのかどうか非常に重要なのではないかと思います。

事務局：現状では検討が足りなかった部分もありますが、今後、皆様のご要望を聞きながら検討を進めてまいりたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

森副会長：他にご質問等ございますか。

高力委員：非常に膨大な量を的確にまとめられていますが、細かいところが気になっています。まず 1 点目がブランドの推進に関する記述について、色んな表現が出てきます。例えば 36 ページの「①業界として推進していく事項」の中で「“横浜”製品の取扱増とブランド形成・育成」という言葉が出てきつつ、さらに 44 ページの「①業界として推進していく事項」の中で「“横浜市場ブランド”」という言葉が出てきます。また、食肉市場の方で 59 ページ

ジの「①業界として推進していく事項」のところに「市場取扱いブランド」という言葉など色々出てきています。せっかく経営展望の素案をまとめられているので、語句を統一して、そこを強調していくということが大切なのかなと思いました。意味が違うのであれば、横浜産品というものは横浜産品、横浜市場ブランドでは横浜市場ブランド、市場取扱いブランドというのは市場取扱いブランドと意味があるように、区別できればいいのですが、同じ意味であるならば同じ言葉を使って表現していった方が、より説得力があるのではないかなと思いました。2点目は、「IoT」や「AI」や「ICT」という言葉は、それぞれ違いますね。29 ページの下から4行目に「技術革新の目覚ましいIoT・AI等」と記載されていますが、それを具現化していく中の表現としては、40 ページの上から3行目にありますように「ICT 技術等の導入」というのが主流になります。「AI や IoT の動向も踏まえ」と記載されていますが、実質的に何をすべきなのかなということ踏まえた表現の方がより良いのではないかなと考えました。最後にもう一つ。34 ページと36 ページにある水産物部の「追っ駆け」という言葉が非常にポイントになっているみたいですが、鍵括弧だったり二重括弧で表現したり、やはり表現の統一というのは、こういう策定の時すごく大切だと思います。

清谷氏：ご指摘ありがとうございます。まず1点目のブランドの名称につきましては、ご指摘のとおりで、本場のブランドと食肉市場のブランド、それから横浜市中心卸売市場としてのブランドと、このような考え方があって思っています。こちらにつきましては、事務局と調整をしながら、表現の統一ないしは使い分けのところについては精査致します。それから2点目のIoT・AI・ICTにつきましても同様に言葉が独り歩きしないように再度精査をしたいと思っています。それから3点目の追っ駆けにつきましても、こちらは水産物部としましては非常に重要な取り組みではございますので、表現を整理したいと思っておりますので、ご指摘の点はお預かりさせていただきます。

事務局：ブランドについては、既に横浜市のブランド名がありますので、それは横浜市場ブランドになります。あとは本場での横浜市場ブランドあるいは食肉市場で既にあるブランド等、全く同じ表現では難しい部分もありますので、そういうところも整理していきたいと思えます。

荒木委員：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社さんに質問ですが、先程3つのブランドが出ていたのは、明確な言葉の使い分けをしているのではなく、何となくの使い分けなのでしょうか。今の話だと何となくの使い分けしている気がします。明確な定義をもって3つのブランドを使い分けしているのであればいいのですが、何となくでしたら受け取る側で勝手に解釈して下さいという事になると思っていますので、作成する側は明確なカテゴリーズ

をしていただかないといけないと思います。

清谷氏：作成する中では、こういったものをという想定をしつつ、経営展望策定ワーキンググループの中でも議論をさせていただいていますが、表現の仕方が色々と混在してしまい、受け取る側で違う見方になるような項目もあるかと思っています。前後の文章も含めてしっかりと意図が伝わるような表現に修正させていただきたいという意味で、ブランドというものを一人歩きさせているという意味ではなく、ここでは市場としての、また、ここでは水産・農産としてのという位置付けで使っている訳ですが、その表現の仕方が少し言葉足らずであったり揺れていたりというところの精査をしたいと思っています。

荒木委員：表現の仕方ではなく、そのブランドはどういうカテゴリーでこういう言葉を使っているのかということを知りたかったのです。そこが揺れていたら、文章でも揺れてしまうと思いますので、その部分がしっかり固まっていれば文章が揺れないと思います。

清谷氏：先程ご指摘をいただいたところだと、例えば 44 ページの「①業界として推進していく事項」の「共通」の中の○3つ目「市民や観光需要等に対する“横浜市場ブランド”のPR」のところだと思えますが、こちらにつきましては横浜市中央卸売市場というその立地並びにその中央卸売市場としての取り組みについて、そのものをブランドと位置づけておりますし、また、36 ページにつきましては一か所抽出しますと同じく「①業界として推進していく事項」「青果部」の一つ目の○「市内・県内産品の出荷誘引による“横浜”産品の取扱増とブランド形成」のところで、こちらにつきましては取扱品目そのものがブランドだということを念頭に置いて、このような表現をさせていただいております。ただ、ブランドというものが言葉の使い方によって違う意味になってしまうようであれば、その点は修正したいとそういう意味で申し上げます。

荒木委員：わかりました。前者は市場をブランディングするという事ですね。

清谷氏：そのとおりでございます。

長岡委員：63 ページの SDGs にある「水産エコラベル認証制度（MEL、FSC、ASC 等）の普及」とありますが、「FSC」というのは「MSC」と思いますが、ご確認いただきたいと思えます。Fだとフォレストで森林になるかと思えます。

事務局：確認しまして、適切な表記に修正させていただきたいと思えますので、宜しくお願いします。

森副会長：長岡委員、宜しいでしょうか。

長岡委員：承知しました。

森副会長：経営展望の策定アドバイザーでもあります藤島委員から何かコメントがありましたら一言よろしいでしょうか。

藤島委員：特にございません。色々ご意見をいただいて、ここまで固めることができました。

森副会長：他にご意見等ないようでしたら時間も押していますので、ここで中央卸売市場の経営展望の検討状況についての議題を終了致します。本日までの議論をもちまして、当協議会の素案としてまとめていきたいと思っております。今後の手続きとしましては、本日いただきましたご指摘やご意見ご質問などを含めて若杉会長と事務局と相談しながら進めていきたいと存じますので、ご一任していただいて宜しいでしょうか。

委員：～異議なし～

森副会長：ありがとうございます。それではそのように進めさせていただきます。

【報告事項(1)：横浜市中央卸売市場業務条例及び施行規則の全部改正について】

【報告事項(2)：開設運営協議会及び各部市場取引委員会の再編及び今後のスケジュールについて】

事務局より資料に基づいて説明。

(質疑等)

石井(良)委員：先程、鈴木課長から市場費会計を経営展望に入れていくと仰いましたが、それはどの段階で入れるのでしょうか。

事務局：横浜市の財政当局との調整が整いましたら、市場費会計を経営展望の中に組み込み、その上で、6月か7月の令和2年第2回定例会へご報告させていただきたいと思っております。その後、市会あるいは市民意見募集でいただいたご意見を含めまして、開設運営協議会に収支計画を含めた部分についてご審議いただく予定です。そこでご意見をいただき、必要に応じて修正をしていくものと考えています。ですので、収支計画が含まれるのは市会報告の時には含まれていないと報告できませんので、それまでに財政当局と調整を済ませていくようなスケジュールで考えています。

石井(良)委員：つまり、ワーキンググループ委員には、その前の時点で、知らされるという理解で宜しいでしょうか。

事務局：財政当局と調整が済み次第、了解が取れましたら速やかにワーキンググループ委員の皆様や開設運営協議会委員の皆様に情報提供させていただきます。

森副会長：他にないようですので、次の報告事項に移りたいと思っております。

【報告事項(3)：新型コロナウイルス感染症対策について】

事務局より資料に基づいて説明。

(質疑等)

委員：～意見等挙がらず～

森副会長：特にないようですので、報告を終了します。本日予定しておりました議事・報告は以上です。

【閉会】